

1 題材名 友達の気持ちや考えを想像しよう

2 児童の実態と個別目標

児童	題材における実態	題材における個別指導目標
A	・自閉症スペクトラム ・相手の気持ちや状況を読み取る力が弱い。	・相手の気持ちや考えを理解し、自分の取るべき行動を考えることができる。【3-(2)】
B	・思ったことがすぐに言動に出てしまい、友達とトラブルになることがある。	・相手の気持ちや考えを理解し、自分の取るべき行動を考えることができる。【3-(2)】
C	・自閉的傾向 ・不登校	・友達と一緒にゲームに参加することができる。【3-(1)】

3 指導にあたって

(1) 題材観

児童は、友達の気持ちや考えを想像したり理解したりすることが苦手で、自分中心の考えになりがちなため、友達との意思の疎通がうまく図れずトラブルになる傾向がある。そこで、友達が興味や関心をもっていそうなことを考えて答えるゲームを取り入れることで、友達の気持ちや考えを想像したり理解したりする能力を伸ばせば、児童のコミュニケーション能力の向上にもつながり、交流学級のような集団の中でも自信をもって生活でき、意欲的な学校生活を送ることができると考えて、この題材を設定した。

(2) 指導観

指導にあたっては、児童が楽しく取り組めるように、「5じゃんけん」や「以心伝心ゲーム」を組み合わせて活動する中で、友達の気持ちや考えを想像することができるようにしていく。また、ゲーム時には、「言われるとうれしい言葉を考えよう」で学習したことを生かしながらできるように声かけをしていくとともに、「それもいいよね」などそろわない答えがあっても、共感的に受け止める言葉を紹介することで相手との関係が良くなることを体験させていきたい。

4 指導計画と評価（4時間扱い）

次	時	主な学習内容・活動	評価		
			A	B	C
1	1	言われるとうれしい言葉を考えよう	・褒めることで相手との関係が良くなることを知る。	・褒めることで相手との関係が良くなることを知る。	・状況に合った褒める言葉を知る。
2	1 (本時)	友達の気持ちや考えを理解しよう	・様々な場面で、相手の気持ちを想像することができる。	・様々な場面で、相手の気持ちを想像することができる。	・友達と一緒にゲームに参加することができる。
3	1	上手な言い方を考えよう	・自分の気持ちをきちんと伝える言い方を知る。	・相手を不快にさせる言い方があることを知る。	・相手を不快にさせる言い方があることを知る。
4	1	頼み方、断り方を考えよう	・嫌な頼み事について断り方を知る。	・相手の気分が悪くならない断りができる。	・状況に合わせたお願いの仕方を知る。

5 本時の指導

(1) 目標

A：相手のことを考えて、発言や行動をすることができる。【3－(3)】

B：相手のことを考えて、発言や行動をすることができる。【3－(3)】

C：友達と一緒にゲームに参加することができる。【3－(1)】

(2) 準備・資料

ホワイトボード、自立カード、プロジェクター

(3) 展開

学習内容	支援と評価（◎評価★称賛☆合理的配慮）			
	全体	A	B	C
1 はじめのあいさつをする。	・学習に気持ちを向けるためにきちんとあいさつができるようにする。	★背筋を伸ばして元気にあいさつができたなら称賛する。		★相手の方を見てあいさつができたなら称賛する。
2 本時の学習内容を知る。 友達の気持ちや考えを理解しよう	・1時間の学習の順序をホワイトボードで確認する。 ・自立カードに本時の個人のめあてを記入する。	・見通しをもってリラックスして活動できるように活動の流れを確認する。 ★自分の言葉で書けたときには称賛する。	★丁寧な字で書けたときには称賛する。	★個人のめあてが書けたときには称賛する。
(1)前時の振り返り (2)ウォームアップ (3)以心伝心ゲーム				
3 ウォームアップを行う。 (1)5じゃんけんをする。 (2人合わせた指の数が5になるように出す。)	・友達が何を出してくるか予想するよう声かけをする。	★言われてうれしい言葉かけをしながら5じゃんけんができたときには、大いに称賛する。 ・楽しさが失われたときには、中断して、楽しくウォームアップを確認する。		☆Cが活動していないときには、声をかけ、活動に誘う。
4 以心伝心ゲームを行う。 (1)ルール説明 (教師から出されるお題を聞いて友達が書きそうなものを予想し、ホワイトボードに書く。)	・友達を意識しながら答えを考えることができるよう励ます。	◎友達のことを考えながら、発言や行動することができたか。 ★共感的な言葉かけをしながら以心伝心ゲームができたときには、大いに称賛する。	◎友達のことを考えながら、発言や行動することができたか。	◎友達と一緒にゲームに参加することができたか。
5 終わりのあいさつをする。	・自立カードに記入したことを発表し合い、本時の活動を振り返る。	・今日の活動を振り返って、感想を書くことができるように促す。 ★しっかり振り返ることができたときは、大いに称賛する。		